



「志」がもつ二つの意味

学校長 小 邑 政明

寒さの厳しかった冬が過ぎ、校門の桜が花開く、春爛漫の季節となりました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者の皆様、立派に成長されたお子様の晴れ姿に接し感無量のこととお察しします。ここまで育てられたご苦労に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

さて、入学式にあたり生徒の皆さんと保護者の皆様に私の期待とお願いを述べたいと思います。

本校は、112年の歴史を持つ伝統校であり、今日では県下屈指の進学校となりました。また、在校生は部活動はもとより各種の大会やコンテスト、コンクールに積極的に参加して輝かしい実績をあげています。皆さんは充実した学校生活ができる学校に入学されました。

今日の我が国に目を向ければ、東日本大震災からの復興や今後予想される大地震及び異常気象への対応、隣国との関係改善など多くの課題を抱えております。一方で、東京オリンピックの開催やリニア中央新幹線の着工など心おどる計画も近未来に待っています。このようなときだからこそ、人々の先頭に立って導くスーパーリーダーが必要とされます。皆さんには将来、是非ともスーパーリーダーになってほしいと思います。

そのために大切なことはただ一つです。皆さんの一人ひとりが「志」をもつことです。「志」とは、将来に対する希望や願望をかなえようとする決意のことであり、漢字「志」の「士」は進み行く「足」の形が変形したもので、『心が目標を目指して進み行くこと』を表しています。

また、「志」には「相手を思う気持ち」という意味もあります。自分の思いが強い余り相手を傷つけてしまったでは本当の意味の「志」ではありません。お互いに助け合い励まし合いながら進んでほしいと思います。

鶯谷中学・高等学校では生徒諸君の「志」の実現を支援するため授業と課外活動を大切にしています。

授業では、単に教科の内容を教えるだけではなく、教科の学習を通して、物の見方や考え方を学びながら、困難にぶつかったとき、自らの力で切り開いていく力、物の本質を見抜く力を育成しています。

また、課外活動では仲間作りに力を入れています。金華山に岐阜城と並んで本校独自の宿泊研修施設「学生会館」があります。ここで、寝食を共にし、友情と団結を深めます。

本校の校歌の中には「志いつも高く持ち新しい世界切り開く」の一節があります。校歌を歌うたびに今日の話思い出してください。

最後に、保護者の皆様へのお願いを述べたいと思います。

お子様にとってこれからは、心や身体の大きく成長する時期であり、将来立派な社会人となり、自らの「志」を立てる大切な時期です。「千匹の魚を与えるより、一匹の魚の釣り方を教える」と言いますが、この教えを基本方針として、私達教職員とともにお子様の成長に関わっていただくことをお願いします。